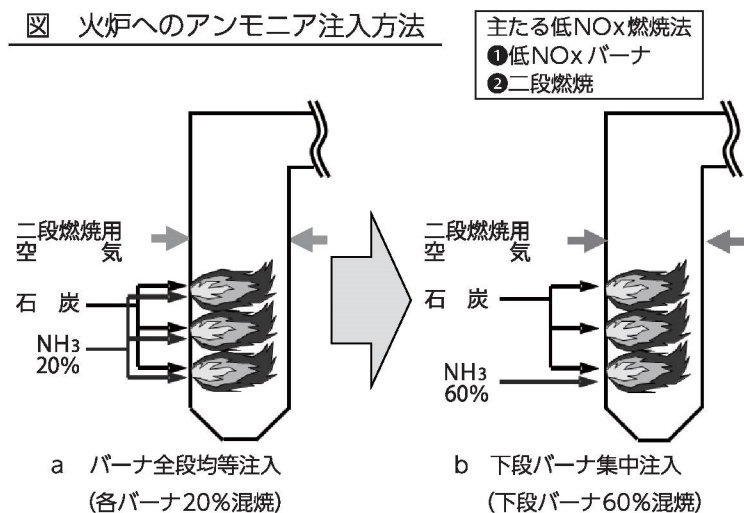


図 火炉へのアンモニア注入方法



6割混焼まで安定燃焼 注入工夫しNO_x対策

日本国内の二酸化炭素(CO₂)総排出量の約4割を占める火力発電に対し、カーボンを含まないアンモニア

を含まないアンモニアを併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

日本国内の二酸化炭素(CO₂)総排出量の約4割を占める火力発電に対し、カーボンを含まないアンモニアを併用してアンモニアの

ゼミナール

火力発電

の燃料利用はCO₂排出量削減の有望な手段として期待されている。

の燃料利用はCO₂排出量削減の有望な手段として期待されている。

【アンモニア混焼時



木本 政義
きもと・まさよし
1988年入所、専門は燃焼工学、博士(工学)

電力中央研究所 エネルギー技術研究所
火力運用保守領域 上席研究員

を確認している。また、アンモニアの化学式がNH₃であることからわかるように窒素分を含んでおり、燃焼に伴う酸化反応により大気汚染物質である窒素酸化物(NO_x)に転換された場合、NO_x濃度の大幅な増加を招くことになる。微粉炭火力を対象とした低NO_x燃焼技術は、重工業メーカー各社が長年苦労して培ってきた経緯があり、アンモニア混焼時のNO_xの増加は、最大の懸念事項である。

【今後の取り組み】アンモニア混焼率20%を目標とした燃焼技術については、実機適用への見通しが立った段階と言える。今後、当研究所はアンモニア混焼率の拡大を目指す技術開発を進める計画である。(隔週で掲載します)

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの

を併用してアンモニアの